

## 京都市の課題

- ・ 四条通は、多くの買物客や観光客で賑わう道路であり、歩行者数が自動車で移動される人数より多いにも関わらず、道路空間の多くは自動車によって占有されているため、歩行空間が大変狭くなっています。
- ・ 京都駅南口駅前広場が整備されている八条通では、バス停が分散するなど、交通施設が適正に配置されておらず、鉄道との乗り換えが不便となっています。

## 対 策

- ・ 市内最大の繁華街である、四条通を中心とする都心地域での歩道拡幅による安全・安心で快適な歩行空間の確保や隣接する細街路で安心して歩くことができる道路整備など一体的な歩行者中心のエリアの確保による賑わいの創出を図ります。
- ・ 八条通の車線数を見直して、交通施設を必要な広場面積を確保して適正に配置することにより、交通結節機能の向上を図ります。

## 成 果 目 標

- ① 四条通におけるピーク時歩行者数の増加  
5,900人/時間(H23当初) → 6,500人/時間(H27末)
- ② 京都駅南口駅前広場における鉄道と路線バスの1時間当りの利用者合計乗継時間の短縮  
— (H23当初) → 25%(H27末)

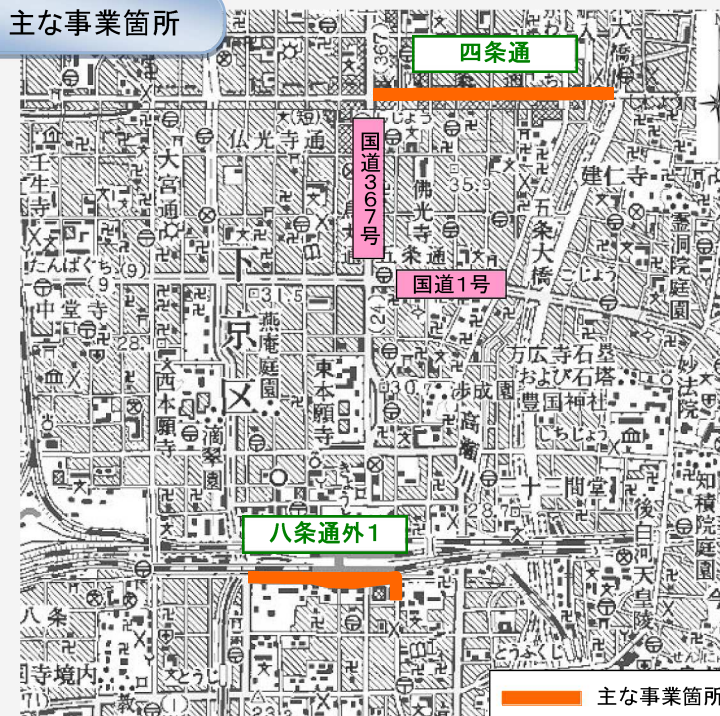
## 事業が完成すると？

- ・ 都心地区における魅力的な都市空間の形成
  - ・ ゆとりある歩道の実現
  - ・ 通過交通の抑制
  - ・ 公共交通の利便性向上
- 等の効果が期待されます。

更にこんな効果が

- ・ 公共交通機関の利用促進
- ・ 地域の活性化を図り、賑わいを創出

## 主な事業箇所



※ 財政状況、事業の進捗状況等により今後適宜見直していくこととしています。

主 な 事 業 の  
実 施 状 況

# 社会資本整備総合交付金チェックシート

(汎用タイプ)

計画の名称：2 京都市の都心地区における歩行者と公共交通を優先した魅力あるまちづくり  
都道府県名：京都市

チェック欄

|                                          |   |
|------------------------------------------|---|
| I. 目標の妥当性                                |   |
| ①上位計画等との整合性                              | ○ |
| ②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)            | ○ |
| II. 計画の効果・効率性                            |   |
| ①整備計画の目標と定量的指標の整合性                       | ○ |
| ②定量的指標の明瞭性                               | ○ |
| ③目標と事業内容の整合性                             | ○ |
| ④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性               | ○ |
| III. 計画の実現可能性                            |   |
| ①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性) | ○ |
| ②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性) | ○ |